

平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月9日

上場会社名 日本ファルコム
 コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 近藤 季洋
 (氏名) 中野 貴司

TEL 042-527-0555

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	670	△27.4	148	△62.9	149	△62.5	104	△63.0
27年9月期第3四半期	923	7.2	400	36.1	399	35.3	283	43.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	10.20	—
27年9月期第3四半期	27.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第3四半期	3,677	3,558	96.8	346.14
27年9月期	3,856	3,525	91.4	342.94

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 3,558百万円 27年9月期 3,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年9月期の期末配当金の内訳 普通配当5円00銭、記念配当2円00銭

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	7.9	700	1.0	700	1.4	469	2.8	45.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期3Q	10,280,000 株	27年9月期	10,280,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期3Q	102 株	27年9月期	102 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	10,279,898 株	27年9月期3Q	10,279,924 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に関する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第3四半期累計期間の製品部門におきましては、東京ゲームショウにおいて、出展社数473社、出展数2,004タイトルと過去最大規模となる中から、来場者の投票により選ばれる「日本ゲーム大賞フューチャー部門」を受賞したり、ユーザーから支持され且つゲーム業界の発展に多大な貢献をしたと認められる優れたゲームをファン投票により選ぶ「ファミ通アワード」を受賞したりするなど、新規タイトルにもかかわらず高い評価をいただいております。平成28年3月にはこの「東京ザナドゥ」をお買い求めやすい価格に設定した「東京ザナドゥ SAKURAまつりパッケージ」を発売しました。

なお、第4四半期においては、日本ファルコム創立35周年記念タイトルとなる携帯型ゲーム機PlayStation®Vita向けゲームソフト最新作「イースⅧ－Lacrimosa of DANA－（ラクリモサ・オブ・ダーナ）」を平成28年7月に発売しております。さらに、平成28年9月には、当社初となる据置き型ゲーム機PlayStation®4向けゲームソフト「東京ザナドゥ e X+（エクスプラス）」を発売する予定です。

その結果、製品部門の当第3四半期累計期間の売上高は216百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

ライセンス部門におきましては、国内において携帯型ゲーム機PlayStation®Vita向けゲームソフト「英雄伝説 空の軌跡SC Evolution」を平成27年12月に発売しました。また、「ファンタシースターオンライン2」や「チェインクロニクル～絆の新大陸～」(株式会社セガゲームス)、「太鼓の達人 Vバージョン」(株式会社バンダイナムコエンターテインメント)などのゲームタイトルとのコラボレーション企画を展開しました。

さらに、当社が過去に発売した「イース」や「軌跡」シリーズなど旧タイトルの英語版PCゲームのダウンロード販売や、北米及び欧州において、携帯型ゲーム機PlayStation®Vita向けゲームソフト「英雄伝説 閃の軌跡」英語版を発売し、アジア地域においては、「英雄伝説 空の軌跡FC Evolution」繁体字中国語版及び韓国語と「イース セルセタの樹海」繁体字中国語版及び韓国語版を発売しました。

なお、第4四半期においては、平成28年7月に携帯型ゲーム機PlayStation®Vita向けゲームソフト「英雄伝説 空の軌跡the 3rd Evolution」を発売しており、平成28年8月には、携帯型ゲーム機PlayStation®Vita向けゲームソフト「イースⅧ－Lacrimosa of DANA－（ラクリモサ・オブ・ダーナ）」の繁体字中国語版を発売する予定です。

その結果、ライセンス部門の当第3四半期累計期間の売上高は454百万円（前年同期比31.8%減）となりました。

それらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は670百万円（前年同期比27.4%減）、営業利益は148百万円（前年同期比62.9%減）、経常利益は149百万円（前年同期比62.5%減）、四半期純利益は104百万円（前年同期比63.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が301百万円増加したことに対し、売掛金が541百万円減少したことにより3,677百万円（前事業年度末比4.6%減）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が55百万円減少したこと、未払法人税等が83百万円減少したこと等により119百万円（前事業年度末比63.9%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い71百万円があったことに対し、四半期純利益を104百万円計上したことにより3,558百万円（前事業年度末比0.9%増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、当社の業績推移の特徴としまして、新製品の発売月に売上高が集中する傾向にあります。平成28年9月期につきましては、第4四半期会計期間に2タイトルの新製品の発売を予定しておりますことから、通期におきまして第4四半期会計期間の売上高の比率が高い業績予想となっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,052,949	3,354,673
売掛金	586,647	45,317
製品	2,487	24,984
原材料	3,807	19,590
その他	40,324	71,239
流動資産合計	3,686,216	3,515,806
固定資産		
有形固定資産	7,389	5,270
無形固定資産	5,374	3,828
投資その他の資産	157,375	152,825
固定資産合計	170,139	161,924
資産合計	3,856,356	3,677,730
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,330	52,000
未払法人税等	83,053	-
賞与引当金	20,250	6,000
その他	120,383	61,458
流動負債合計	331,017	119,459
負債合計	331,017	119,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	3,041,962	3,074,895
自己株式	△117	△117
株主資本合計	3,525,338	3,558,271
純資産合計	3,525,338	3,558,271
負債純資産合計	3,856,356	3,677,730

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	923,153	670,629
売上原価	89,305	92,804
売上総利益	833,847	577,825
販売費及び一般管理費	432,968	429,228
営業利益	400,878	148,596
営業外収益		
受取利息	309	332
受取配当金	-	572
未払配当金除斥益	865	702
営業外収益合計	1,174	1,606
営業外費用		
為替差損	2,194	378
営業外費用合計	2,194	378
経常利益	399,859	149,825
税引前四半期純利益	399,859	149,825
法人税、住民税及び事業税	78,346	26,094
法人税等調整額	37,849	18,837
法人税等合計	116,196	44,932
四半期純利益	283,662	104,892

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。